

武蔵小金井駅南口交通広場と駅舎の整備

2011年1月22日(土)
日本共産党・板倉真也

2009年12月、待望のJR中央線高架化が実現。7箇所の「開かずの踏切」が解消し、11箇所の南北道路・通路が新たに造られる。これに沿う形で、武蔵小金井駅南口の交通広場と駅舎の整備がすすめられている。

南口交通広場は今年3月に完成

■駅前開発を条件に東京都が土地を提供

南口交通広場の面積は6,300㎡。南北に走る小金井街道(都道)の敷地の延長線という形で東京都が無償で提供。ただし、南口の再開発を行なうことが条件に付され、再開発の一環として整備された。なお、従前の南口広場は700㎡。

現在、トイレ3基の設置工事が行なわれており、タクシープール部分も工事中。時計塔は設置済み、タクシープール周囲は緑地帯となる。今年3月に完成予定。交番は来年度に設置される。

バス会社は今後、バスの発着場所の見直しを行なう予定。基本的には、南側路線は南口に、北側路線は北口に発着場所を設ける方向。交通広場内への一般車両の乗り入れも認める。ただし、人の乗り降りだけの「一時停止」での利用。

中央線の高架下部分の活用計画

■中央線の高架化事業に小金井市は78億1,830万円負担

中央線を高架にするために、小金井市が組んだ予算額は94億5,800万円。そのうち小金井市は78億1,830万円を負担。

その代わりに、小金井市は市内の中央線高架下を15%、無料でJRから永久的に貸与される。面積は4,556㎡。小金井市はそのうちの3,800㎡を駐輪場に、256㎡を起業者用の事務所等に、残り500㎡を東小金井駅東側に設置予定の市役所出張所(市政センター)に充てる計画。

東京都の補助	16億3,970万円
小金井市が借金	75億3,010万円
市民の税金	2億8,820万円

武蔵小金井駅の駅舎は来年3月完成

■高架下の整地も来年3月で終了

駅舎の整備が急ピッチで行なわれている。現在の予定では、武蔵小金井駅の駅舎は来年3月完成、東小金井駅の駅舎は今年の春頃には完成。また、高架下の整地もそれに合わせて行なわれている。武蔵小金井駅周辺の高架下の施設整備や周囲道路の整備を含めた完了時期は2013年度末を予定。武蔵小金井駅北口の駅前広場も整備される。なお、武蔵小金井駅の上りホームは現在、東京方面の線路は1本のみだが、ホームの北側部分にもう1本、設置される。

